

平成27年度成人式を開催 大人としての自覚強く持つ



式に出席した仲間と
記念撮影



当時の担任の先生と
談笑する場面も



新成人を代表し誓いの言葉を
述べる小林諭果さん



出席者にアドバイスを送る岸英利アナウンサー



真剣な表情で市民憲章を
唱和する新成人の皆さん

市成人式が8月15日、西根地区市民センターで行われました。27年度の市内の成人式の対象者は、計306人で、うち209人が式に出席。スーツや華やかなドレスに身を包んだ新成人が、大人としての第一歩を踏み出しました。

式では、始めに遠藤稜騎さん＝西根中卒＝が市民憲章の前文を朗読し、それに続いて、出席者全員で市民憲章を唱和。田村正彦市長が「皆さんを育み、他の場所には無い良さを持った八幡平市。地元に住み、市の発展のために頑張ってください」と、新成人に呼び掛けました。

また、新成人を代表し、早稲田大学3年で、ス

キージャンプで活躍する小林諭果さん＝松尾中卒＝が「無事成人式を迎えられるのも、家族、友人、地域の皆さんに見守られ、支えがあったからこそです。これからは、私たちも人を支える立場として社会に貢献し、成長していきたい」と、誓いの言葉を述べました。

式終了後は、株式会社岩手朝日テレビのアナウンサー・岸英利さんが、『自分に正直に』と題し、記念講演。就職に至る経緯などを紹介したほか、「良きライバルを見つけよう」「目標とする人から話を聞こう」という言葉を送り、これから大人として歩み始める新成人を激励しました。



田村啓造会長(左)が田村市長に
寄付金を贈呈

首都圏に住む市出身者で構成する「八幡平ふるさと会」の田村啓造会長が、8月15日に市役所を訪れ「地域振興に役立ててほしい」と、寄付金13万7896円を田村正彦市長に贈呈しました。寄付金は、第9回八幡平ふるさと会の集い(5月31日、東京で開催)で、出席者から集められたものです。また、その際に寄贈されたテレビ(50型)は、8月13日に市役所結のひろばに設置されました。

地域の振興に役立ててほしい 八幡平ふるさと会から寄付金



調印した協定書を手にする飯塚明彦
理事長(右)と田村正彦市長

「市高齢者等見守りネットワーク事業に関する協定締結式」が8月24日、市役所で行われました。この協定は、市といわて生活協同組合(以下、いわて生協)との間で締結。いわて生協の配達業務中に高齢者などの異変を察知した際、市へ連絡するものです。式では、いわて生協の飯塚明彦理事長と田村正彦市長が協定書に調印し、今後の協力体制を確認しました。

市といわて生活協同組合間で 高齢者見守り事業の協定締結

市生涯学習推進大会講演会を 開催します

市生涯学習推進本部と市では、市生涯学習推進大会講演会を開催します。

■日時 9月26日(土)午後2時半から4時まで(午後2時開場)

■場所 松尾コミュニティセンター ※当日は上履き、下足袋を持参ください。

■演題 「子どものために手をつなぐ」～孤立しがちな時代の保護者と学校そして地域の関係づくり～

■講師 大阪大学大学院教授・教育学博士 小野田正利氏

■入場料 無料

詳しくは、市役所地域振興課市民協働推進係(☎・内線1252)まで。



小野田 正利 氏

昭和30年、愛知県日進町(現日進市)生まれ。「学校現場に元気と活力を！」をテーマに、現場に密着した研究活動を展開中。

市建設協同組合から 花火まつりに協賛金



田村市長(左)に協賛金を手渡す(隣から)
遠藤忠志理事長、藤根俊一副理事長、山本昭人副理事長、吉田進副理事長

8月3日、市建設協同組合から八幡平ふるさと花火まつりの協賛金50万円が寄付されました。同協同組合の遠藤忠志理事長ら4人が市役所を訪ね、田村正彦市長に協賛金を手渡しました。寄付いただいた協賛金は、同まつりの運営に活用されました(関連記事12ページ)。